

市民意識調査報告書

平成24年7月

掛川市 企画調整課

目 次

第1章 市民意識調査の概要	2
第2章 集計結果	3
1. 基本的事項	
2. 政策の実施効果	
3. 政策に対する満足度と優先度	
(1) 満足度と優先度の分析結果（ポートフォリオ分析）	
(2) 象限（ゾーン）別の経年変化	
(3) 満足度の経年変化	
(4) 優先度の経年変化	
第3章 自由回答結果	22

第1章 市民意識調査の概要

1. 調査目的

近年、地方分権の流れから、国及び都道府県から市町村へ事務・権限が多く移譲され、それぞれの地域の独自性を反映した行政が求められている。そのため、今後は、市町村をはじめとする地方公共団体には、住民の意思を反映しながら、自らの判断と責任において、施策を立案・実施していかなければならない。

このことから、本市では平成19年度からの第1次掛川市総合計画において、顧客（すなわち市民）志向の重点的・戦略的な事業展開を行う成果志向型行政経営に取り組んでいる。

この市民意識調査の目的は、以下の2点にある。

(1) 総合計画に定めた成果指標の達成度を測定する。

(2) 総合計画基本計画に設定した51施策の市民の満足度と優先度を測定する。

この調査により、複雑・多様化する市民ニーズをとらえ、施策・事務事業の軌道修正や新規立案の検討材料とするものである。

2. 調査対象

(1) 調査対象

市内在住の20歳以上の全ての市民の中から2,500人の方々を抽出し、男女比率を1対1とし、年齢階層ごとに均等に抽出した。

(2) 配布数

2,500枚を配布した

3. 調査期間と調査方法

(1) 調査期間

平成24年4月27日～平成24年5月11日

(2) 調査方法

郵送により発送・回収した

4. 回収状況

1,060枚回収（回収率 42.4%）

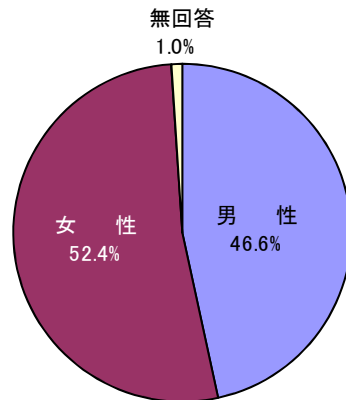
（参考：前年は、2,500枚配布、1,118枚回収。回収率 44.7%）

第2章 集計結果

1. 基本的事項

(1) 性別（問1）

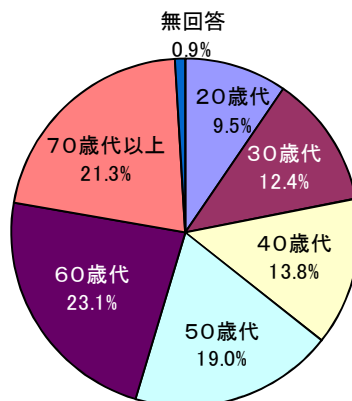
回答者の性別は、「男性」46.6%、「女性」52.4%であった。男女の割合は昨年度とほぼ同じであり、市政やまちづくりに対して「女性」の関心が若干高いことがうかがえる。



(2) 年齢（問2）

回答者の年齢は、若年層（20歳代・30歳代）の割合が21.9%、中年層（40歳代・50歳代）の割合が32.8%、高年層（60歳代・70歳代以上）の割合が44.4%であった。

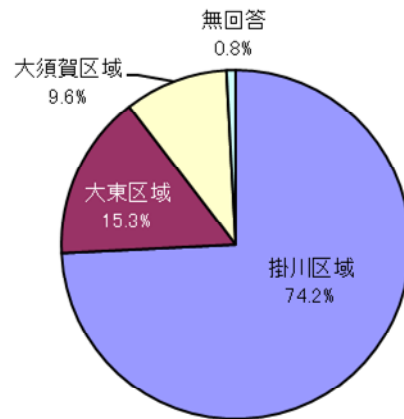
これまでの調査と同様、本調査結果には高年層の意向が多少強く反映されていることがうかがえる。



(3) 住まい (問3)

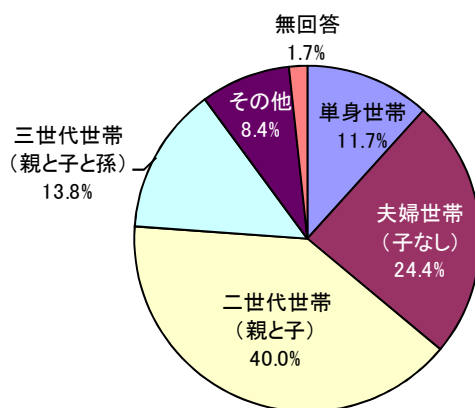
回答者の住まいは、「掛川区域」74.2%、「大東区域」15.3%、「大須賀区域」9.6%であった。各地区の割合は昨年度とほぼ同様である。

なお、実際の人口割は、掛川区域 72.4%、大東区域 17.5%、大須賀区域 10.1% (平成 24 年 3 月末時点) である。



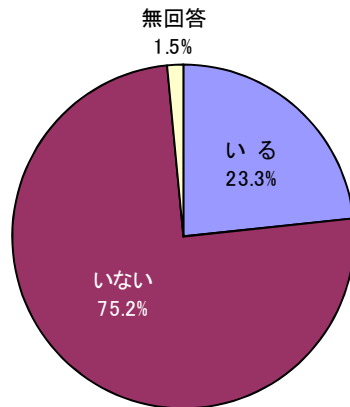
(4) 家族構成 (問4)

回答者の家族構成は、「二世世代世帯 (親と子)」と「夫婦世帯 (子なし)」が 64.4% (前年比 2.3%増) となり、核家族が主流になっている。



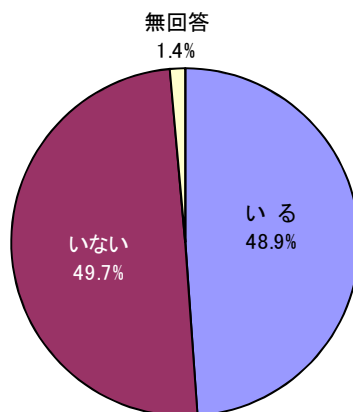
(5) 高校生以下の子どもの有無(問5)

回答者の子どもの有無(高校生以下)は、「いない」が75.2%で全体の3/4を占め、23年度より1.0%増加していることから、ひきつづき少子化の傾向が続いていることがうかがえる。



(6) 65歳以上の家族の有無(問6)

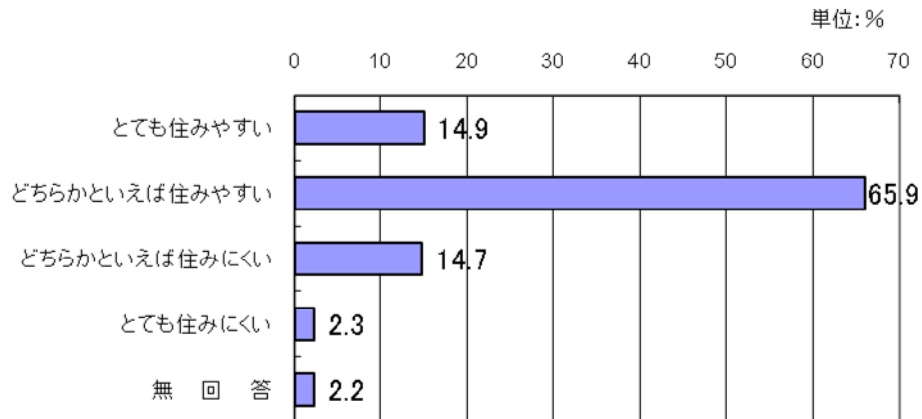
回答者の65歳以上の家族の有無は、「いる」が48.9%となった。23年度調査とほぼ同じ割合である。



(7) 住みやすさ (問7)

「どちらかといえば住みやすい」が65.9%と最も多く、「とても住みやすい」14.9%とあわせると80.8%の市民が住みやすいと感じていることがうかがえる。

住みやすいと感じる市民の割合は年々増加傾向にあったが、今回の調査では、23年度調査と比べて3.1%減少している。これは、東日本大震災やそれに伴う原発事故及び津波の影響、経済状況の悪化が長期化していること等により、不安が先行し、住みやすいと感じた人が減少したと考えられる。

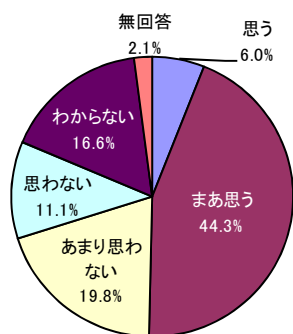


2. 政策の実施効果

<8-1>※総合計画 成果指標

保健医療福祉分野 大綱1

掛川市は、安心して子どもを生き育てる環境が整っているまちだと思いますか？

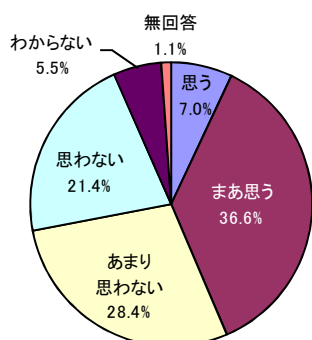


「思う」6.0%、「まあ思う」44.3%と肯定的回答が50.3%となり、23年度調査より9.5ポイント減少した。また、「あまり思わない」19.8%、「思わない」が11.1%と否定的回答が30.9%となり、4.5ポイント増加した。

<8-2>※総合計画 成果指標

保健医療福祉分野 大綱2

掛川市は、病気やケガなど万一の時、いつでも安心した医療が受けられるまちだと思いますか？

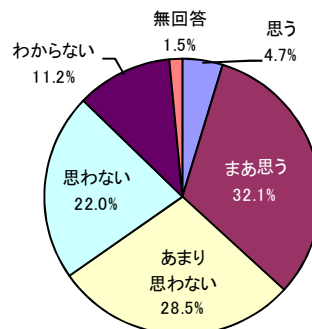


「思う」7.0%、「まあ思う」36.6%となり、23年度調査とほぼ同じで、肯定的回答が半数を下回った。否定的回答では、23年度調査に比べて「思わない」と「あまり思わない」の合計が2.8ポイント減少している。

<8-3>※総合計画 成果指標

保健医療福祉分野 大綱3

掛川市は病人や障害者、高齢者になっても安心して暮らしていけるまちだと思いますか？

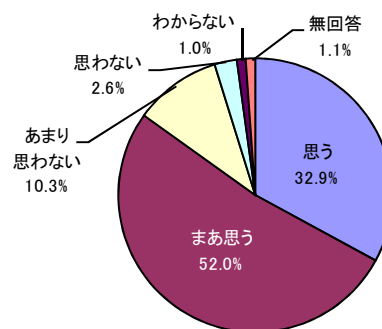


「思わない」22.0%、「あまり思わない」28.5%であり、依然否定的回答が半数以上を占めている。肯定的回答では、23年度調査に比べて「思う」と「まあ思う」の合計が1.2ポイント減少している。

<8-4>※総合計画 成果指標

環境生活分野 大綱1

あなたは日頃から、ごみの減量化、節水、電気使用量の削減など地球環境保全のために行動していると思いますか？

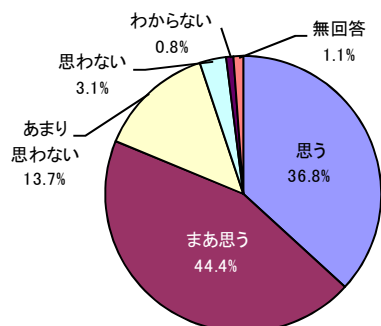


「思う」32.9%、「まあ思う」52.0%と肯定的回答は前回調査とほぼ同じく高い割合である。環境に対する意識が広く市民に浸透・定着しつつあることがうかがえる。

<8-5>※総合計画 成果指標

環境生活分野 大綱2

あなたは、豊かな自然を身近に感じて暮らしていると思いますか？

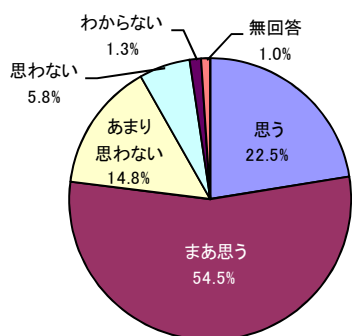


「思う」が 36.8%、「まあ思う」が 44.4%となった。23 年度調査同様、肯定的回答が非常に高い数値を得たが、「思わない」「あまり思わない」の合計が 3.5 ポイント増加している。

<8-6>※総合計画 成果指標

環境生活分野 大綱3

あなたがお住まいの地域は、清潔で美しい生活環境が保たれていると思いますか？

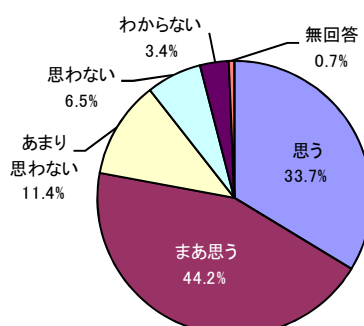


「思う」が 22.5%、「まあ思う」が 54.5%となった。23 年度調査同様、肯定的回答が高い数値を得たが、「思わない」「あまり思わない」の合計が 2.7 ポイント増加している。

<8-7>※総合計画 成果指標

環境生活分野 大綱3 基本計画3

あなたは、上水道が安心して飲め、断水などが無く安定して供給されていると思いますか？

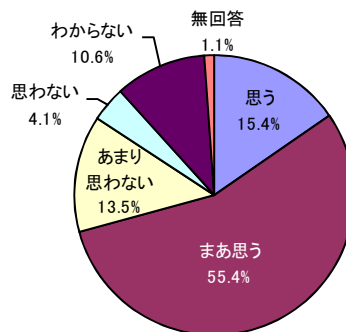


「思う」が 33.7%、「まあ思う」が 44.2%となった。23 年度調査同様、肯定的回答が非常に高い数値を得たが、「思わない」「あまり思わない」の合計が 5.5 ポイント増加している。

<8-8>※総合計画 成果指標

教育文化分野 大綱1

あなたは、地域の子も達が、心身ともに健全に成長していると思いますか？

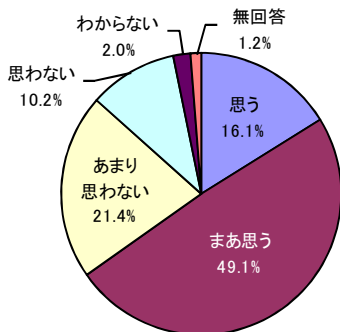


「思う」15.4%、「まあ思う」55.4%と肯定的回答が7割を超えているが、23 年度調査の「思う」12.8%、「まあ思う」61.6%の74.4%より3.6 ポイント減少している。

＜8-9＞※総合計画 成果指標

教育文化分野 大綱2

あなたは、健康で生きがいを持って人生を送れていると思いますか？

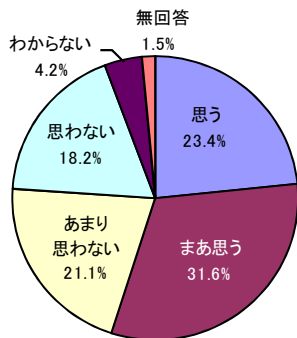


「思う」が 16.1%、「まあ思う」が 49.1%となった。23 年度調査の「思う」12.9%、「まあ思う」53.7%とほぼ同じ割合となった。

＜8-10＞※総合計画 成果指標

教育文化分野 大綱2 基本計画1

あなたは、生きがいを感じる趣味や活動に取り組んでいますか？

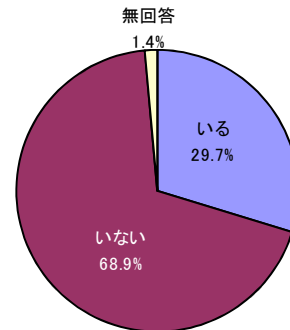


「思う」が 23.4%、「まあ思う」が 31.6%となった。23 年度調査の「思う」16.5%、「まあ思う」41.2%と同様、肯定的回答が半数を超えたが、否定的回答も依然 4 割を占めている。

＜8-11＞※総合計画 成果指標

教育文化分野 大綱2 基本計画2

あなたは、週 1 回以上スポーツやレクリエーションをしていますか？

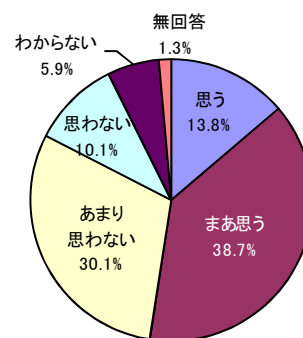


「いる」が 29.7%となり、前回調査の 33.7%より 4.0 ポイント減少し、「いない」が 68.9%で前回調査の 65.4%より 3.5 ポイント増加した。

＜8-12＞※総合計画 成果指標

教育文化分野 大綱3

あなたは、郷土の歴史や文化に誇りと愛着を持っていますか？

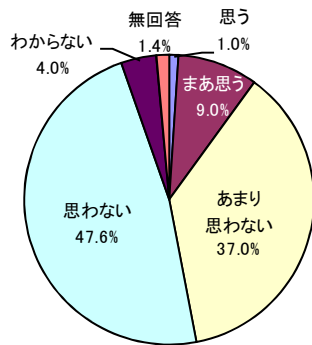


「思う」が 13.8%、「まあ思う」38.7%となった。前回調査の「思う」10.6%、「まあ思う」43.7%と同様、肯定的回答が半数を超えた。しかし、否定的回答も依然 4 割を占めている。

〈8-13〉※総合計画 成果指標

産業経済分野 大綱4

掛川駅周辺の中心市街地は、魅力的で楽しい場所だと感じますか？

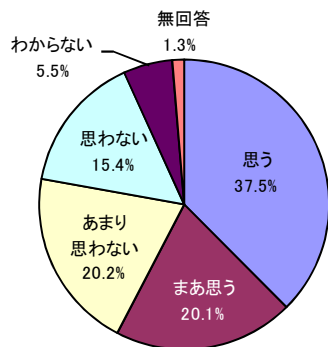


「思う」が1.0%、「まあ思う」9.0%となった。肯定的回答は、23年度調査と比べても3.6ポイント減少し極めて低い結果となった。

〈8-14〉※総合計画 成果指標

都市基盤分野 大綱2

あなたは、通勤・通学・通院・買い物などに出かける時にバスや鉄道に不便を感じますか？

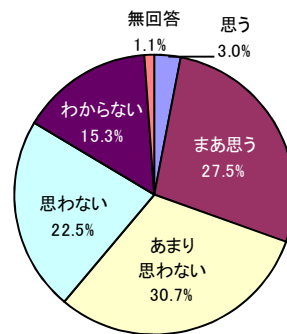


「思う」37.5%、「まあ思う」20.1%となった。23年度調査の「思う」34.7%、「まあ思う」23.0%同様、半数以上が不便を感じている。

〈8-15〉※総合計画 成果指標

都市基盤分野 大綱3

掛川市は、計画的な土地利用や都市計画により、住宅・商業・農業・工業などがバランス良く配置されているまちだと思いますか？

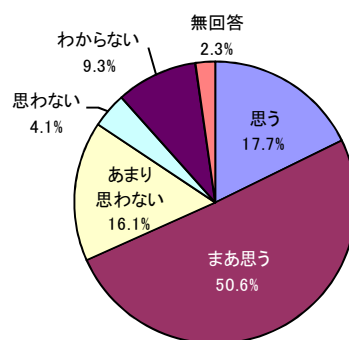


「思う」が3.0%、「まあ思う」が27.5%となった。23年度調査の「思う」2.3%、「まあ思う」33.2%より肯定的回答が5.0ポイント減少した。

〈8-16〉※総合計画 成果指標

防災危機管理分野 大綱1

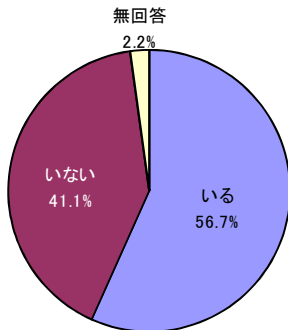
あなたは、地震発生など災害時に自分がどのように行動すれば良いか自覚していますか？



「思う」が17.7%、「まあ思う」が50.6%となった。23年度調査の「思う」12.5%、「まあ思う」55.7%とほぼ同じ割合になった。しかし、依然否定的回答も20.2%ある。

<8-17>※総合計画 成果指標

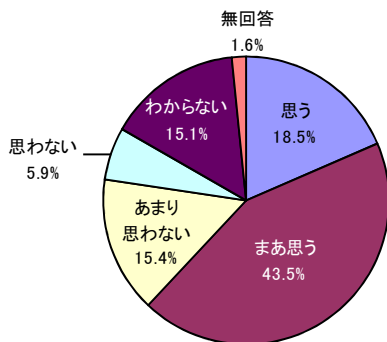
防災危機管理分野 大綱1 基本計画1
あなたは、災害に備えて水や食料など非常持ち出し品を準備していますか？



「いる」が56.7%で、23年度調査の60.1%より3.4ポイント減少した。約4割が非常時の備えをしていないと回答している。

<8-18>※総合計画 成果指標

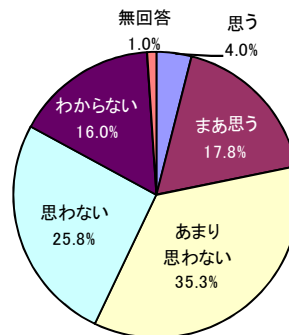
防災危機管理分野 大綱2
掛川市は、火事や急病の時に直ちに駆けつけてくれる、信頼できる消防救急体制が確保されていると思いますか？



「思う」が18.5%、「まあ思う」43.5%であった。23年度調査の「思う」15.4%、「まあ思う」53.4%と同様肯定的回答が6割を超えた。

<8-19>※総合計画 成果指標

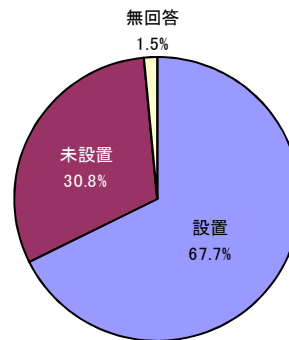
協働広域行財政分野 大綱1
あなたの力は、より良い地域づくり・まちづくりに活かされていると思いますか？



「あまり思わない」が35.3%、「思わない」が25.8%であった。23年度調査の「あまり思わない」48.2%、「思わない」14.0%と同様、否定的回答が6割を超えた。

<8-20>

あなたの自宅には、火災警報器（煙や熱を感知して警報音を発するもの）が設置されていますか？

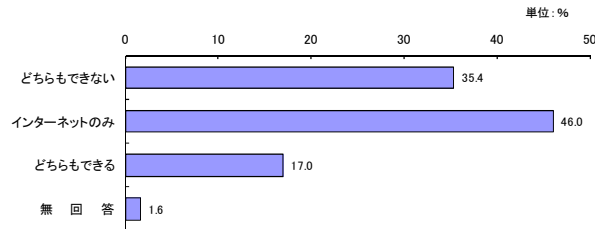


「設置済」が67.7%と23年度調査の59.4%より8.3ポイント増加したが、依然3割は「未設置」である。

〈8-21〉※総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱1 基本計画3

あなたの自宅ではインターネットを利用することができますか？また、ブログやSNSを利用していますか？

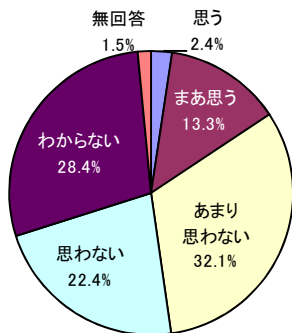


「どちらもしない」と回答した人の割合は35.4%となった。回答者の44.4%が60歳以上であるが、インターネットは63.0%の市民が利用している。

〈8-22〉※総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱2

掛川市は、他の自治体に比べ行政改革が進んでいると思いますか？

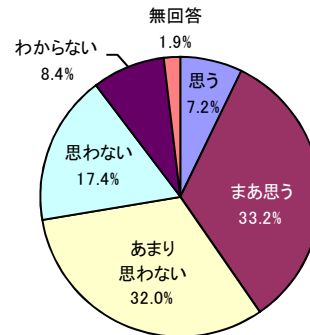


「あまり思わない」が32.1%、「思わない」22.4%であった。23年度調査と同じく否定的回答が半数を占めている。また、「わからない」も28.4%と比較的高い。

〈8-23〉※総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱2 基本計画3

あなたは、必要な時に必要な市の情報が手に入っていると思いますか？

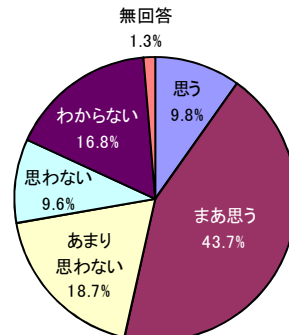


「思う」7.2%、「まあ思う」33.2%の合計40.4%に比べ、「あまり思わない」32.0%、「思わない」17.4%の合計49.4%と、否定的回答が上回っている。

〈8-24〉※総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱2 基本計画4

あなたは、掛川市役所の窓口サービスが迅速で効率よく提供されていると思いますか？

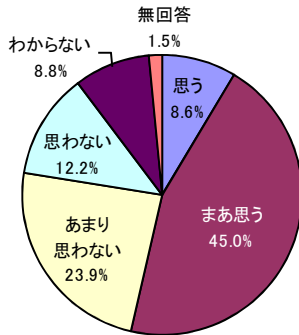


「思う」が9.8%、「まあ思う」が43.7%であった。23年度調査の「思う」7.2%、「まあ思う」46.0%より肯定的回答が0.3ポイント増加した。しかし、否定的回答も28.3%ある。

<8-25>※総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱3

あなたがお住まいの地域は、人と人が信頼し、助け合える環境になっていると思いますか？

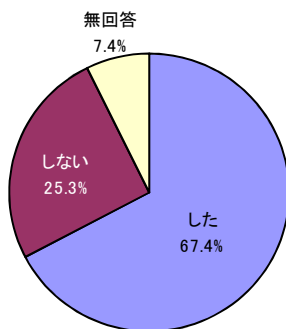


「思う」が8.6%、「まあ思う」が45.0%となり、肯定的回答が半数を超えた。しかし、23年度調査の「思う」7.1%、「まあ思う」53.0%に比べて6.5ポイント減少した。

<8-26>※総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱3 基本計画1

あなたは、一年間に一回以上、地域の活動（奉仕活動やイベントなど）に参加しましたか？

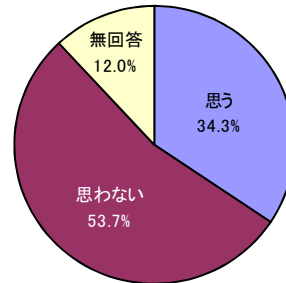


「した」が67.4%であり、23年度調査の71.5%より4.1ポイント減少している。

<8-27>※総合計画 成果指標

協働広域行財政分野 大綱4

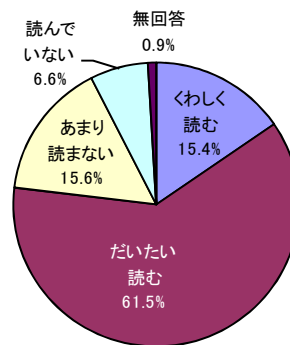
あなたは、家庭・地域・職場などあらゆる場面で、男女共同参画が進んでいると思いますか。



「思う」が34.3%となり、23年度調査の肯定的回答40.5%に比べ6.2ポイント減少し、「思わない」が53.7%となり、23年度調査の否定的回答42.2%に比べ11.5ポイント増加した。

<8-28>

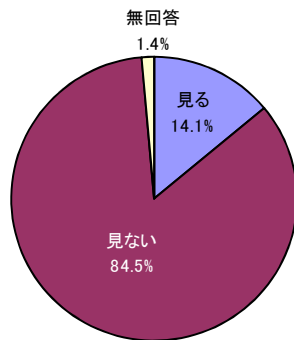
あなたは「広報かけがわ」を読んでいますか？



「くわしく読む」15.4%、「だいたい読む」61.5%となり、回答者の3/4が広報かけがわを読んでいる。また、年代が上がるごとに読む割合が上昇している。

<8-29>

あなたは市のホームページを定期的に見ますか？



「見る」が14.1%、「見ない」が84.5%となり、市のホームページを定期的に見る割合はかなり低い。また、年代によって見る割合にあまり差がない。

3. 政策に対する満足度と優先度

ポートフォリオによる分析

ポートフォリオ分析とは、総合計画基本計画に定められた 51 施策の満足度と優先度を点数化し、縦軸に優先度（グラフ上側がより優先度が高く、下側がより優先度が低い）を、横軸に満足度（グラフの右側がより満足度が高く、左側がより満足度が低い）をとってグラフ化し、各施策の分布状態から、効果的な投資を判断しようとするものである。座標の原点は、満足度と優先度の両者とも平均値としている。各象限に位置づけられた施策は 51 施策の比較の中では概ね次のように評価されたと考えることができる。

(1) 満足度と優先度の分析結果 (※ P 18 のポートフォリオグラフ表を参照)
 平均値 満足度：0.16 優先度：0.54

①満足度も優先度も高い施策 — B ゾーン (グラフ右上側)

51 施策の比較では、満足度も優先度も高い施策となる。サービスが一定の水準に到っているが、重要度が高いことから積極的に現状維持する施策となる。

【満足度も優先度も高い施策】	満足度	優先度
・ 1 子ども支援の充実	0.44	1.24
・ 2 親支援の充実	0.41	0.84
・ 3 子育ての環境整備	0.17	1.17
・ 4 市民の健康づくり	0.49	0.95
・ 6 質の高い医療の提供 (市立総合病院)	0.35	1.09
・ 8 障害のある人への支援	0.30	1.03
・ 9 高齢者福祉の充実	0.39	0.95
・ 13 ごみ減量と資源の有効活用の推進	0.69	0.85
・ 17 水質浄化の推進	0.32	0.63
・ 18 安全・安心で安定した上水道の供給	0.78	0.99
・ 19 学校教育の充実	0.61	0.95
・ 20 乳幼児教育の充実	0.22	1.06
・ 41 消防救急体制の強化	0.40	0.95
・ 42 交通安全対策の強化 (交通事故の根絶)	0.22	0.70
・ 43 犯罪の撲滅	0.18	1.09

②満足度が低く、優先度が高い施策 — A ゾーン (グラフ左上側)

51 施策の比較では、満足度が低く、優先度が高い施策になる。サービスの水準が低く、重要度が高いことから、不満の解消に向けて積極的に投資すべき施策になる。

【満足度が低く優先度が高い施策】	満足度	優先度
・ 5 地域医療・救急医療の充実	0.08	1.22
・ 7 国民健康保健事業等の健全な運営	0.12	0.88
・ 12 省エネ・再生可能エネルギーの普及促進	- 0.04	0.72

	満足度	優先度
・26 商工業の振興	- 0.16	0.69
・27 雇用の確保と勤労者福祉の充実	- 0.19	0.97
・30 農業の振興	- 0.21	0.72
・33 生活道路の整備	- 0.14	0.76
・39 防災・減災体制の強化	- 0.20	1.31
・40 災害に強い住宅、公共施設づくり	- 0.23	1.38
・48 効率的・効果的な行政経営	- 0.27	0.69
・49 財政構造改革	- 0.22	0.73

③満足度も優先度も低い施策 — Cゾーン（グラフ左下側）

51 施策の比較では、満足度も優先度も低い施策になる。サービスの水準は低い、重要度も低いので、市民の不満の要因を把握しながらも、当面、現状を注視する施策となる。

【満足度も優先度も低い施策】	満足度	優先度
・11 人権が尊重され希望が持てる地域社会の確立	0.10	0.53
・29 観光の振興	- 0.12	0.14
・31 農商工連携の推進	- 0.05	0.52
・32 幹線道路の整備	- 0.06	0.50
・34 公共交通の確保	- 0.29	0.53
・35 バランスの取れた土地の利用	- 0.37	0.10
・36 住宅・住宅地の供給	- 0.02	- 0.29
・37 中心市街地の再形成	- 0.27	0.19
・38 条件不利地域（中山間地域）への支援	- 0.19	0.02
・47 高度情報通信技術（ICT）の利活用	0.14	- 0.24

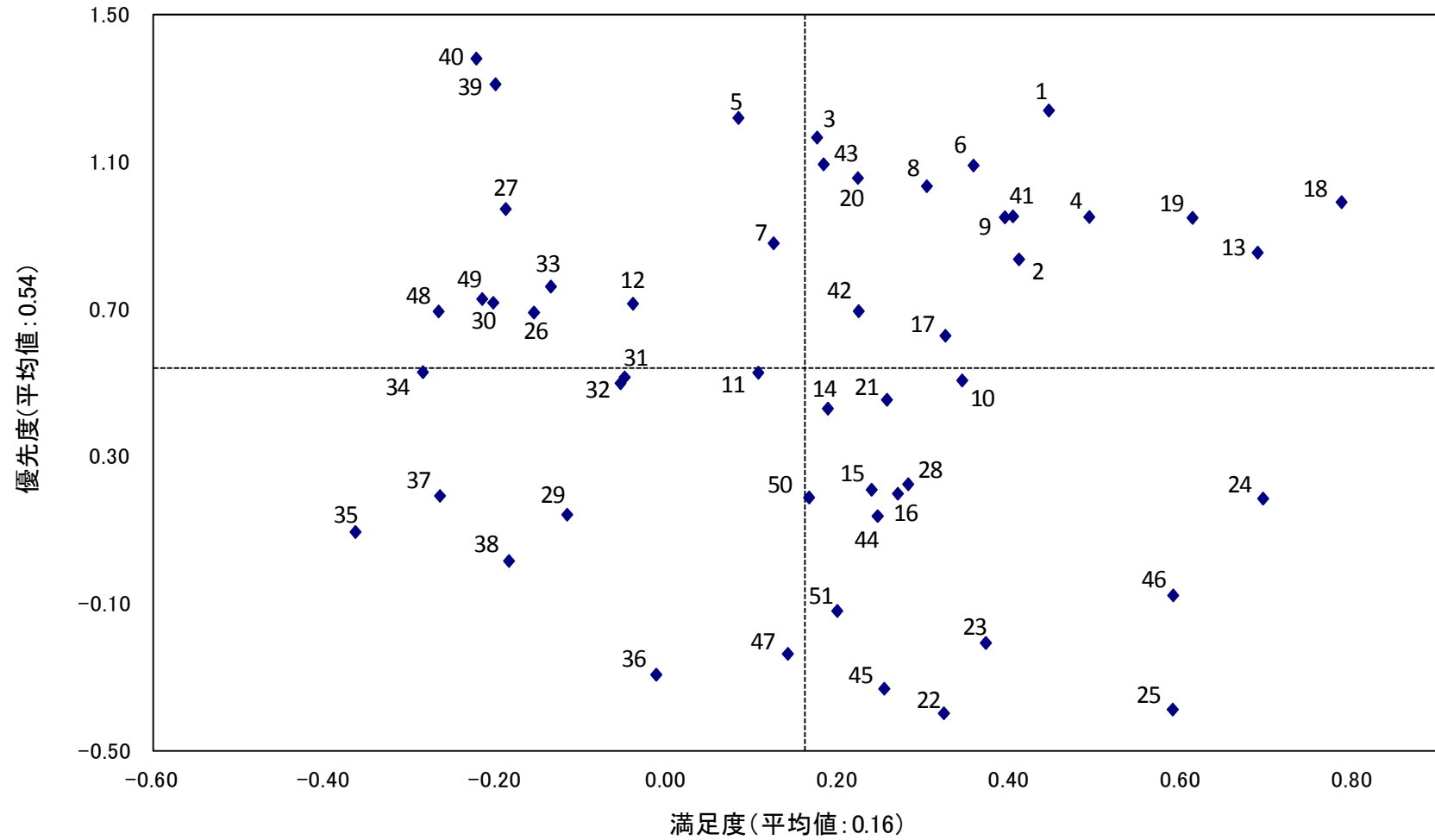
④満足度が高く優先度は低い施策 — Dゾーン（グラフ右下側）

51 施策の比較では、満足度が高く、優先度が低い施策になる。サービスが一定の水準に到っていることから、今後、縮小を検討する施策になる。

【満足度が高く優先度は低い施策】	満足度	優先度
・10 地域福祉活動の推進	0.34	0.51
・14 森林・海岸等自然環境の整備・保全・活用	0.18	0.43
・15 公園緑地の整備・緑化の推進	0.24	0.21
・16 健康的な生活環境の確保（公害防止）	0.27	0.20
・21 青少年の健全育成	0.25	0.45
・22 社会教育活動の充実	0.32	- 0.40
・23 生涯スポーツの実践と普及	0.37	- 0.21
・24 図書館の運営	0.69	0.19
・25 歴史や文化の伝承・保存・活用	0.59	- 0.39
・28 安全・安心な消費生活の確保	0.28	0.23
・44 市民活動の活性化	0.24	0.14

	満足度	優先度
・45 国内・国際交流の推進と外国人との共生	0.25	- 0.33
・46 市民参加と情報共有の推進	0.59	- 0.08
・50 地域自治活動の充実	0.16	0.19
・51 男女共同参画の推進 (男女がともに個性と能力を発揮できる社会の実現)	0.20	- 0.12

■市民意識調査のポートフォリオ分析

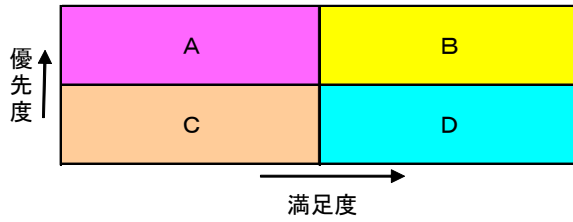


(凡例)

A	B
C	D

Aゾーン: 積極的投資する施策分野
 Bゾーン: 積極的に現状維持する施策分野
 Cゾーン: 現状維持する施策分野
 Dゾーン: 投資量を縮小する施策分野

(2)象限(ゾーン)別の経年変化



区分	H22
A ゾーン	1 子育て・子ども支援
	3 地域医療・救急医療
	4 市立総合病院
	5 国民健康保険
	6 障害者福祉
	7 高齢者福祉
	23 商工業の振興
	24 雇用対策・勤労者福祉
	27 中心市街地
	28 農業振興
	42 行政改革
	43 財政構造改革

区分	H23
A ゾーン	1 子育て・子ども支援
	3 地域医療・救急医療
	4 市立総合病院
	5 国民健康保険
	6 障害者福祉
	7 高齢者福祉
	10 地球環境保全
	23 商工業の振興
	24 雇用対策・勤労者福祉
	28 農業振興
	34 防災体制
	35 耐震・防災基盤
	42 行政改革
43 財政構造改革	

区分	H24
A ゾーン	5 地域医療・救急医療
	7 国民健康保健
	12 地球環境保全
	26 商工業の振興
	27 雇用対策・勤労者福祉
	30 農業振興
	33 生活道路整備
	39 防災体制
	40 耐震・防災基盤
	48 行政改革
	49 財政構造改革

区分	H22
B ゾーン	2 保健予防
	10 地球環境保全
	11 廃棄物処理
	15 下水道
	16 上水道
	17 学校教育
	18 幼稚園・保育園
	34 防災体制
	35 耐震・防災基盤
	36 消防救急体制
	37 交通安全
	38 防犯

区分	H23
B ゾーン	2 保健予防
	11 廃棄物処理
	15 下水道
	16 上水道
	17 学校教育
	18 幼稚園・保育園
	36 消防救急体制
	37 交通安全
	38 防犯

区分	H24
B ゾーン	1 子ども支援
	2 親支援
	3 子育て環境整備
	4 保健予防
	6 質の高い医療(市立総合病院)
	8 障害者福祉
	9 高齢者福祉
	13 廃棄物処理
	17 下水道
	18 上水道
	19 学校教育
	20 幼稚園・保育園
	41 消防救急体制
42 交通安全	
43 防犯	

区分	H22
C ゾーン	26 観光振興
	29 幹線道路整備
	30 生活道路整備
	31 公共交通
	32 土地利用
	33 住宅・宅地
	48 男女共同参画

区分	H23
C ゾーン	26 観光振興
	27 中心市街地
	29 幹線道路整備
	30 生活道路整備
	31 公共交通
	32 土地利用
	48 男女共同参画

区分	H24
C ゾーン	11 人権・生活保護
	29 観光振興
	31 農商工連携
	32 幹線道路整備
	34 公共交通
	35 土地利用
	47 高度情報化(ICT)

区分	H22
D ゾーン	8 地域福祉
	9 人権・生活保護
	12 森林・自然
	13 公園緑地
	14 公害防止・環境保全
	19 青少年健全育成
	20 生涯学習
	21 スポーツ・レクリエーション
	22 歴史・文化
	25 消費生活
	39 協働まちづくり
	40 国際交流・外国人共生
	41 高度情報化(ICT)
	44 市民参画・情報公開
	45 市役所サービス
	46 広域行政
	47 地域コミュニティ

区分	H23
D ゾーン	8 地域福祉
	9 人権・生活保護
	12 森林・自然
	13 公園緑地
	14 公害防止・環境保全
	19 青少年健全育成
	20 生涯学習
	21 スポーツ・レクリエーション
	22 歴史・文化
	25 消費生活
	39 協働まちづくり
	40 国際交流・外国人共生
	41 高度情報化(ICT)
	44 市民参画・情報公開
	45 市役所サービス
	47 地域コミュニティ

区分	H24
D ゾーン	10 地域福祉
	14 森林・自然
	15 公園緑地
	16 生活環境(公害防止)
	21 青少年健全育成
	22 社会教育
	23 スポーツ・レクリエーション
	24 図書館
	25 歴史・文化
	28 消費生活
	44 協働まちづくり
	45 国際交流・外国人共生
	46 市民参画・情報公開
	50 地域コミュニティ
	51 男女共同参画

(3)「満足度」の経年変化

■考察

順位	H22	H23	前年との 順位比	H24	前年との 順位比	分野	「満足度」の経年変化における特筆点
1位	上水道	上水道	→	上水道	→	保健医療福祉分野	全体的に満足度の順位が大きく上昇した。特に、「質の高い医療(市立総合病院)」の満足度が上昇した。「人権・生活保護」は大きく満足度の順位を下げた。分野全体の満足度は、22年度 -0.05 23年度 0.00 24年度 0.29と上昇傾向にあり、今回調査では平均を超えている。
2位	廃棄物処理	廃棄物処理	→	図書館	→		
3位	生涯学習	学校教育	↑	廃棄物処理	↓		
4位	学校教育	歴史・文化	↑	学校教育	↓		
5位	歴史・文化	生涯学習	↓	市民参画・情報公開	↑		
6位	消防救急体制	スポーツ・レクリエーション	↑	歴史・文化	↓		
7位	市民参画・情報公開	保健予防	↑	保健予防	→		
8位	スポーツ・レクリエーション	下水道	↑	子ども支援	→		
9位	森林・自然	森林・自然	→	親支援	→	環境生活分野	環境生活分野は、例年満足度が高い分野であるが、今回の調査では全体的に順位が下がっている。「下水道」、「公園緑地」、「森林・自然」、「地球環境保全」のいずれも大きく順位を下げている。分野全体の満足度は、22年度 0.38 23年度 0.39 24年度 0.35となっている。
10位	保健予防	消防救急体制	↓	消防救急体制	→		
11位	下水道	消費生活	↑	高齢者福祉	↑		
12位	交通安全	地域福祉	↑	スポーツ・レクリエーション	↓		
13位	公害防止・環境保全	市民参画・情報公開	↓	質の高い医療(市立総合病院)	↑		
14位	協働まちづくり	公園緑地	↑	地域福祉	↓	教育文化分野	教育文化分野は、毎年、比較的上位に位置している。しかし、その中で「幼稚園・保育園」、「青少年健全育成」については中位に位置することが多い。後期基本計画で新たに成果指標に設定された「図書館」は、2位にランクされた。分野全体の満足度は、22年度 0.33 23年度 0.37 24年度 0.44となっている。
15位	地域コミュニティ	交通安全	↓	下水道	↓		
16位	地球環境保全	公害防止・環境保全	↓	社会教育	→		
17位	公園緑地	地域コミュニティ	↓	障害者福祉	↑		
18位	地域福祉	青少年健全育成	↑	消費生活	↓		
19位	消費生活	協働まちづくり	↓	生活環境(公害防止)	→		
20位	市役所サービス	市役所サービス	→	青少年健全育成	↓		
21位	高度情報化(ICT)	人権・生活保護	↑	国際交流・外国人共生	↑		
22位	防災体制	防犯	↑	協働まちづくり	↓		
23位	国際交流・外国人共生	幼稚園・保育園	↑	公園緑地	↓		
24位	人権・生活保護	高度情報化(ICT)	↓	交通安全	↓	産業経済分野	産業経済分野は、毎年、下位に多く位置している。特に、「観光振興」は継続して下降している。「雇用対策・勤労者福祉」については、長引く不況のため、低迷しているものと推測されるが、若干順位が上昇した。分野全体の満足度は、22年度 -0.43 23年度 -0.35 24年度 -0.07となっている。分野全体の満足度が改善されたのは、「中心市街地」が後期基本計画から都市基盤分野に変更されたためと思われる。
25位	防犯	国際交流・外国人共生	↓	幼稚園・保育園	↓		
26位	耐震・防災基盤	住宅・宅地	↑	男女共同参画	↑		
27位	幼稚園・保育園	生活道路整備	↑	森林・自然	↓		
28位	青少年健全育成	子育て・子ども支援	↑	防犯	↓		
29位	広域行政	地球環境保全	↓	子育て環境整備	→	都市基盤分野	都市基盤分野は、ほぼ全ての分野で前回調査より順位を落としている。新規成果指標の「中山間地」は42位であった。「中心市街地」は、産業経済分野から分野が変更されている。分野全体の満足度は、22年度 -0.17 23年度 -0.13 24年度 -0.19となっている。
30位	男女共同参画	広域行政	↓	地域コミュニティ	↓		
31位	住宅・宅地	障害者福祉	↑	高度情報化(ICT)	↓		
32位	観光振興	国民健康保険	↑	国民健康保健	→		
33位	高齢者福祉	高齢者福祉	→	人権・生活保護	↓		
34位	生活道路整備	幹線道路整備	↑	地域医療・救急医療	↑		
35位	国民健康保険	観光振興	↓	住宅・宅地	↓		
36位	子育て・子ども支援	男女共同参画	↓	地球環境保全	↓		
37位	障害者福祉	農業振興	↑	農商工連携	→	防災危機管理分野	防災危機管理分野は、「消防救急体制」が順位を維持したものの、その他の項目は全て順位が下がった。特に「防災体制」、「耐震・防災基盤」が下がっており、東日本大震災以来、この分野への関心が高く、満足度に影響したと思われる。分野全体の満足度は、22年度 0.20 23年度 0.05 24年度 0.07となっている。
38位	幹線道路整備	土地利用	↑	幹線道路整備	↓		
39位	地域医療・救急医療	防災体制	↓	観光振興	↓		
40位	土地利用	地域医療・救急医療	↓	生活道路整備	↓		
41位	農業振興	耐震・防災基盤	↓	商工業の振興	↑		
42位	公共交通	行政改革	↑	中山間地	→	協働・広域・行政分野	協働・広域・行政分野は、「行政改革」、「財政構造改革」が毎年下位に、「市民参画・情報公開」が上位に位置している。その他の項目は中位に位置した。分野全体の満足度は、22年度 -0.14 23年度 -0.14 24年度 0.14となっている。
43位	行政改革	公共交通	↓	雇用対策・勤労者福祉	↑		
44位	市立総合病院	商工業の振興	↑	防災体制	↓		
45位	商工業の振興	市立総合病院	↓	農業振興	↓		
46位	財政構造改革	財政構造改革	→	財政構造改革	→		
47位	雇用対策・勤労者福祉	雇用対策・勤労者福祉	→	耐震・防災基盤	↓		
48位	中心市街地	中心市街地	→	中心市街地	→		
49位				行政改革	↓		
50位				公共交通	↓		
51位				土地利用	↓		

(4)「優先度」の経年変化

■ 考察

順位	H22	H23	前年との 順位比	H24	前年との 順位比	区分	「優先度」の経年変化 における特筆点	コメント
1位	地域医療・救急医療	耐震・防災基盤	↑	耐震・防災基盤	→	第1位 グループ	平成23年度から防災関係が急上昇し、本年度は「耐震・防災基盤」「防災体制」が優先度上位2項目となり、「防犯」も上昇した。「質の高い医療（市立総合病院）」の優先度は下降傾向にある。	東日本大震災以来、防災関係の優先度が引き続き高い。また、地域の医療体制、子育てに関する関心も引き続き高い。満足度の低い項目も含まれている。
2位	市立総合病院	地域医療・救急医療	↓	防災体制	↑			
3位	子育て・子ども支援	防災体制	↑	子ども支援	→			
4位	雇用対策・勤労者福祉	市立総合病院	↓	地域医療・救急医療	↓			
5位	財政構造改革	子育て・子ども支援	↓	子育て環境整備	→			
6位	幼稚園・保育園	消防救急体制	↑	防犯	↑			
7位	消防救急体制	幼稚園・保育園	↓	質の高い医療（市立総合病院）	↓			
8位	耐震・防災基盤	雇用対策・勤労者福祉	↓	幼稚園・保育園	↓			
9位	障害者福祉	学校教育	↑	障害者福祉	↑	第2位 グループ	防災関係に続き、保健医療福祉分野の優先度が高いことがわかる。雇用対策、学校教育及び消防救急体制も常に上位に位置している。	健康で安心・安全・安定的な生活に関わる施策の優先度が常に高い。
10位	保健予防	財政構造改革	↓	上水道	↑			
11位	学校教育	障害者福祉	↓	雇用対策・勤労者福祉	↓			
12位	防災体制	高齢者福祉	↑	消防救急体制	↓			
13位	防犯	上水道	↑	保健予防	↑			
14位	高齢者福祉	保健予防	↓	高齢者福祉	↓			
15位	上水道	防犯	↓	学校教育	↓			
16位	行政改革	地球環境保全	↑	国民健康保健	↑			
17位	商工業の振興	商工業の振興	→	廃棄物処理	↑	第3位 グループ	「廃棄物処理」、「農業振興」、「交通安全」が常に位置している。「財政構造改革」、「地球環境保全」が下がり、「生活道路整備」があがってきている。新規の「親支援」が位置している。	生活に密着する項目のうち、比較的優先度の低いものが集まっている。
18位	国民健康保険	行政改革	↓	親支援	→			
19位	地球環境保全	廃棄物処理	↑	生活道路整備	↑			
20位	廃棄物処理	国民健康保険	↓	財政構造改革	↓			
21位	下水道	下水道	→	農業振興	↑			
22位	農業振興	農業振興	→	地球環境保全	↓			
23位	交通安全	交通安全	→	交通安全	→			
24位	中心市街地	中心市街地	→	行政改革	↓			
25位	青少年健全育成	青少年健全育成	→	商工業の振興	↓	第4位 グループ	第3位、第5位グループから移動してきた項目が多く、年度により変動がある。商工業の振興が順位を大きく下げている。	満足度が低いものが多いが、優先度も高くないことがうかがえる。
26位	消費生活	地域福祉	↑	下水道	↓			
27位	生活道路整備	生活道路整備	→	公共交通	↑			
28位	地域福祉	幹線道路整備	↑	人権・生活保護	↑			
29位	公園緑地	消費生活	↓	農商連携	→			
30位	市役所サービス	公共交通	↑	地域福祉	↓			
31位	公害防止・環境保全	人権・生活保護	↑	幹線道路整備	↓			
32位	観光振興	公害防止・環境保全	↓	青少年健全育成	↓			
33位	幹線道路整備	観光振興	↓	森林・自然	↑	第5位 グループ	「中心市街地」の優先度が大きく順位を下げている。	「中心市街地」は満足度・優先度も低くなっている。
34位	公共交通	市役所サービス	↓	消費生活	↓			
35位	人権・生活保護	生涯学習	↑	公園緑地	↑			
36位	広域行政	公園緑地	↓	生活環境（公害防止）	↓			
37位	市民参画・情報公開	男女共同参画	↑	中心市街地	↓			
38位	男女共同参画	森林・自然	↑	地域コミュニティ	↑			
39位	森林・自然	市民参画・情報公開	↓	図書館	→			
40位	生涯学習	広域行政	↓	観光振興	↓			
41位	地域コミュニティ	地域コミュニティ	→	協働まちづくり	↑	第6位 グループ	「観光振興」の優先度が下がっている。その他の項目は変動が少ない。新規項目の「中山間地」がここに位置している。	緊急性が低いものが集まる傾向にある。また、満足度が2位の「図書館」はこのグループに位置している。
42位	協働まちづくり	土地利用	↑	土地利用	→			
43位	スポーツ・レクリエーション	協働まちづくり	↓	中山間地	→			
44位	土地利用	スポーツ・レクリエーション	↓	市民参画・情報公開	↓			
45位	歴史・文化	歴史・文化	→	男女共同参画	↓			
46位	住宅・宅地	住宅・宅地	→	スポーツ・レクリエーション	↓			
47位	高度情報化(ICT)	高度情報化(ICT)	→	高度情報化(ICT)	→			
48位	国際交流・外国人共生	国際交流・外国人共生	→	住宅・宅地	↓			
49位				国際交流・外国人共生	↓			
50位				歴史・文化	↓			
51位				社会教育	→			

第3章 自由回答結果（主な意見・「他〇件」は同様の意見の件数）

【保健医療福祉分野】

子育てに対する支援は、昔に比べても充実していて今の子育て世代は十分恵まれていると思う。（他1件）

子育て環境の整備、高齢者福祉の充実を特に優先していただきたい。（他3件）

子供、お年寄り、妊婦、障害をもった方たちにとって、やさしいまちに、もともとなってほしいです。

安心して子供を育てられる様な対策を立てて欲しい(学童保育等子育て支援)。

子どものかかりつけの病院が袋井でいつも混んでいる。近くに信頼できる小児科ができてほしい。（他1件）

子供の医療費500円を袋井市のように無料にしてほしい。（他1件）

子供手当の振込が子供の通帳にも振込できるようにしてほしい。

健診や予防接種説明会を出生1ヶ月半で集団で行うのもどうかと思います。出産後1ヶ月半では、母親も子供もまだまだ落ち着いて生活できる環境にありません。また問診票も説明会で配布されたものでなければ、公費で接種できないというもおかしいと思います。

子供がほしくて不妊治療をしている嫁、あまりの金額がかかることにびっくりしました。少子化対策を進めている市としては、もう少し援助してもらえれば安心して治療ができるのではないかと思います。

すべての小学校で学童保育を18時半にして欲しい。

とにかく子供がいません。私の組では13件中1件。子供がいる世帯で若夫婦の負担が多すぎます。年寄りやひとり暮らしが多く、とにかくわがままばかりです。肉体的にも金銭的にも負担ばかりで引越したいです。

親支援の充実について、セミナーを月2回でいいので中学3年までやってほしい。

高齢者が住み良い町づくりにしてほしい。（他2件）

高齢者自身はあまり人に頼らず出来る限り自立して、健康管理と交通事情にも気を配り、迷惑にならないよう甘え過ぎないように生活すべきでしょう。

自主生活が限界な老人が多い。その対応を。

老後の二人を考えると不安になります。今後、益々一人か二人の世帯が多くなるが、市の対応、サービスがはたして追いついて来てくれるか大変心配です。病気の事、食事の事、認知症と色々不安材料ばかりです。年金も減る事はあっても増えないし。とにかく病気になれない。経済の活気しかない。

自動車の運転も出来ない、高度な情報通信もだめという高齢者は、社会から取り残されていく様な気がしています。高齢者にも暖かな行政の手をさしのべて戴きたいと思います。

高齢者の(介護)施設の充実を今以上に図ってください。（他4件）

特別養護老人ホームを増設してほしい。入所順位は介護度優先にしてほしい。

子育ての時、優遇していただけなかった分高齢になった今、税金を下げてください。

高齢者福祉の充実を望みます。老後を健康で生きがいのある、そして安心して過ごせるそんな町を是非実現してください。次に障害のある人への支援の項目になるでしょうか。このところ、気になる若者のひきこもり(うつ病、ニート)について、対象の家庭への補助、支援、このことは個人情報等の問題もあるでしょうが是非民生委員、警察等との連携により事故を未然に(家庭暴力その他)防いでほしいと思います。

高齢化が進み、老人ホーム等の高齢者に対する福祉面も大事だが、次世代を担う子どもへの支援をより充実させて欲しい。(他2件)

高齢化社会を考え、気軽に集えるたまり場的な場所があればと(少人数でおしゃべりの出来る)と思いますが、現実的にはなかなか難しい物がある様です。

年金暮らしの人が安心して住める町にして欲しい。今は子ども支援の事ばかりですけど昔から子どもは何とかなったのにずっと働いてきた老人が住みにくくなったような気がする。

障害者に対する市役所の窓口の対応も最低。何も知らない契約の職員を置くのは考えられない。

障害児施設について。現在、障害を持つ児童は、市内ならめばえ→東遠学園の分校か袋井養護学校に通っているが、成人になった場合、施設等に入る場合、数が足りず困っている方々が沢山いると聞きました。入所待ちで。グループホームのようなものか、使っていない場所を借りて施設を作ってもらうことは可能ですか。

生活保護世帯の見直し。

新病院建設についても「日本一の病院」や「世界一の病院」等と口にする方がお見えになるが、いくら世界一の病院を作ってもそこで診療にあたる医師の質が伴わないと実力を発揮することはできない。頭数だけの医師を集めても真の医療活動が発揮されないのは云うまでもない。外部をよく見てほしい市民の貴重な生命を守る病院だから…期待しています(医療法の主旨をよく理解してね)。(他2件)

医療でも総合病院は基本的に紹介状がないと診察をしてくれない事もあり、随分腹立たしさを思った事もありました。親切で丁寧、紹介状のいらぬ森町病院に行きます。(他1件)

問9-6「現市立病院跡地への福祉施設の設置」とありますが、私は現市立病院跡地を売却して、歩いて徒歩30分圏内に福祉施設が1つある町づくりをした方が良いと思います(中山間地には無理でしょうが)。

新病院は市民がかかれる所でなくては意味がなく、今開業医は患者でいっぱいですが、これで市民の健康を守っているとはとても思えません。

高度医療を目的とした新病院ができることは心強いが退院後の2次的な医療を行う病院(リハビリ、ホスピス等)を確保していただきたい。

袋井市との新病院の建設をして今より医療体制を充実してほしい。(他2件)

袋井市との新病院の建設に関しては、賛成だが、両病院にあるモデルルームは必要がないと思うが。

大きさと装備の充実はいいが、それを動かす優秀な医者と呼んでいるかどうか疑問だ。ハードとソフトの両方のバランスがとれないのでは建築物の負担だけが残るのでは。その対策はどう考えているか明確に示してほしい。

市立病院へ夕方～夜間で緊急で行っても担当者が今はいない、と。結局次の日に来てください、と。二度手間。意味が無いと感じる。

病院の入院時の食事について。市立病院の食事はひどいです。保育園児の我が子が入院した時、どんぶりごはんとうどんでした。浜松の民間の病院では食事が楽しみでした。病院の安定した運営は入院患者数でもあると思います。食事の改善をしてください。

掛川市民病院2F受付の対応(40~50代女性)が悪かったです。受付付近の看護婦も不快に感じました。具体的に言うとニヤニヤ、ヘラヘラ。病院の接客指導はどうなっているんですか？医療機関にだってお金を払っているのに従業員の対応を見直して欲しいです。掛川市民病院には、市民ですけどもう行かないです。

看護師の育成にもっと力を入れてください。

病院の充実。産婦人科が少なく、どこで産めばいいのか？と皆困っています。また、どこに何の病院があるかの病院マップなどがあれば嬉しいです。県外などの方々は病院がわからないようです。

健康第1、医療費の削減のため、スポーツジム通いの人に補助金を支給しては。

乳ガン検診の年齢が40歳からというのは、どうかと思います。世界中で「早期発見、早期治療」を言われているのだから、20代からにするべきだと思います。

子宮けいガンワクチンへの対策が遅すぎる。年齢的な条件に漏れた人への補助をすべき。医療をもっとしっかり。掛川市病院は親切心が足りず、言葉も足りない。

どなたも自身の健康管理を心掛け、日々充実した毎日を過ごしていけるとは思います、とはいえいつでも、万全な体調を維持出来ることは難しく、やがて医療担当者のお世話になることに、殆どの方がなるとは思われます。やがて訪れるであろう支援の必要になる前に、自分の意思で終末の治療方法についての意思表示をしておけば、自分の意思に従った対応をして頂けるとは思います。意識が無くなったり、意思表示が出来なくなってしまうからでは、親族などの対応は悩むことになると思います。ますます高騰する医療費は、次世代を担う人達に更に負担を強いることになり、死は必ず訪れることですので自分の意思で、たとえば50歳になった時などに、市民に書面に記載して頂いたらいかがでしょうか。回復の見込みの全くないと思われる方への、延命措置は、本人のみならず、関係親族にもご負担が多く掛かる状況と思われま。

民生委員でも人の親身になる人とそうでない人もいますので“引き受けてくれる人がいない”状況なのかもしれませんが、なるべく親身になってお話を聞いてくれる人が望ましく思います。

【環境生活分野】

公共墓地の十分な確保(購入希望者は確保することが出来る様に)

掛川だけ猫(ペットの)の火葬場がない。

市民がエコなどで努力したことには目に見えるような還元をしていただきたい。

ごみ袋のサイズを増やしてほしい。5Lの小さいサイズを。夏はこまめに燃えるごみを出したいが単身者に10Lはもったいないサイズ。

私は仕事の関係で昨年より掛川市で暮らしていますが、これほど不便で住みづらい街はありません。ゴミの捨て方や方法も、もの凄く閉鎖的ですし、缶が月に1度しか捨てる機会がない街なんて今まで聞いた事ありません。何卒改善していただきたいです。(他1件)

市で集めてくれるのにごみや缶を道ばたに捨てる人や犬の糞の始末のできない人が多い。(他1件)

西大淵前新田地区は管理型一般廃棄物最終処分場候補として地権者、地域の同意を過去得てあり一部市で取得してある土地をガレキ処理の一助として考えたらどうか。

市に対して何かをやってもらうとすぐ予算が無いと言う言葉を聞きますが、聞き飽きました。東北地方の震災のゴミは焼却する様にしましたが、たしか現在の焼却場が完成後何年かしてからゴミが多すぎると言うことを聞きましたが、それでも震災のゴミを受けるのでしょうか。

がれき処理は受け入れた方がよいと思います。(他2件)

市役所西の長谷の公園をよく利用しております。子供達がたくさん集まるのでとても気に入っていますが、遊具を増やせないでしょうか。鉄棒でしたら隅の方に広場を狭めることなく設置できるのではないのでしょうか。簡単なことではないですが、是非ご検討ください。

22世紀の丘公園はいつもきれい。大須賀にも遊具のある公園がほしい。

公園も名ばかりで遊具のない空き地同然の公園が多い。

町内の下水道施設整備が完了していないが、上流部が未整備のため、幹線排水路は旧態のまま、早急に対応を期待する。

下水道浄化整備を優先して進める。河川の汚れが目立つ場所も見られる。町づくりと共に早急に進めてほしい。(下水道浄化設備、現在何%位出来ているのかもわからない!)

下水道使用料をもっと安くしてほしい。高くてもこのままでは住居転居を考える方向でいます。

水道代が高い。(他2件)

水道管の老朽化が心配。新規配管への切り替え計画はどうなっていますか？

これからのまちづくりは、市民に平等であるべきだと思います。山間地域に上水道を引くのに個人的に数百万円のお金がかかりました。大変不公平だと思います。

風が強いので風力発電をもっと増やすべき。生ゴミ処理機に助成金を出してほしい。

風車の健康被害についてどうお考えですか？地元住民のほとんどが「知らないうちに風車ができてた」という状況です。偏頭痛や耳鳴り等の症状の出ている方もいます。自律神経も乱れます。海と風車の近くには絶対住みたくありません。未来ある子供の成長も心配です。

原発をやめて太陽光発電の保護推進をして、原発のゴミを後の世代に残さない事。(他1件)

太陽光発電の補助金をもう少し援助していただけると嬉しいです。(他2件)

電力対策で風力発電をかなり建てているが、あれが安定供給の為の物とは到底思えない。並列送電をした所でほとんど効果が無いのでは。止まっているし、太陽電池事業も同じだが、天候に左右されるような物に大金をつぎ込むのはどうかと思うが。景観も損ねてしまっていてどうかと思うが。

住宅密集地においてガスや電気でない風呂炊きや調理はやめてもらいたい。(レクリエーションのバーベキューはのぞく)ストーブ？まき？による煙で窓があげられず生活しにくい。そういうお宅に訪問しガスや電気による方法にかえる指導し財政的に余裕があれば補助金を出してリフォームを促してみたらどうか。

環境…逆川にアユが遡上と明るい話題もありますが、4河川への汚水の流れ込みが少し減少したのかなと思います。治水も大事なことです。川の側面等へのコンクリートでの三面張りにはガッカリです。環境のことを考えているのですか？松井市長のマニフェスト「三つの日本一まちづくり」私は期待したのですが、同じ静岡県三島市を見ましたか？市民、行政、企業が協働し改善しています。豊かな水辺の自然が必要です。

緑が豊かなので森林整備、池沼整備に力を入れてほしい。葛ヶ丘の自然公園の樹木選定はセンスが無いにもほどがあった。

掛川に引っ越してきて間もないですが、掛川は自然が少ない。育児をしている為か外の空気を吸いたくなり外に出掛けたりしています。心がおちつき心が和むには緑豊かな自然に触れ外の空気を吸い野鳥の鳴き声をきいた時です。大切なのは全体的に高めるのではなく、何を守りたいかなのではないのでしょうか。

毎年ハエが多く発生して環境政策課にお願いしますが、一向に少なくなりません。家の近くばかり多く悩んでいます。

実は昨年引っ越し(市内転居)をし、現在の家のすぐ近くに新しく出来た水路があります。引っ越すまでは全く気付かなかったのですが、水は絶えず流れていますが、清掃が全くされていないため、雨が降ったり、天気の関係なのか蚊の大量発生に毎日悩まされています。

開発中心でというよりも、自然を大切に自然と共生をテーマにしてほしいです。

掛川城公園内ののら猫対処。公園内散策時に不快。

私の住居は比較的農地が多く常に感じていること、それはごみの処理で雑草を袋に入れて出している方が多い。処分場で燃しているとしたら経費が多く使うと思われる。出来るだけ農村地帯では当地で処分する方法を考慮してはどうか。

昨年「みどりのカーテン」に応募しましたが、結果について何の報告も無し！！落選しても全ての応募者に通知すべきだと思います。

仁藤町～葛川の新道に街路樹がない。夏はとても暑いです。木陰が必要では。

駅前鳥のフンは美観を損なうのでは。

新規に道路作る、道路の拡幅が毎年行われていますが、車を運転する者にとっては便利でしょう(走りやすい、短時間で目的地に行ける)が、自然を破壊している。山をつぶし、田畑もつぶし、今後の掛川市としての職の安定確保は、どう考えているのだろうか。私は、便利さよりも自然あつての平和な生活を望みます。

地球の温暖化防止や集中豪雨による土砂災害被害の減少、有害鳥獣として被害が出ている野生動物に対してのエサとなる実のなる雑木などの植樹作業の必要性を市民に呼び掛けて頂きたい。落葉した葉からの養分を、川を通じて海に送り、海洋資源の生産力を高める、循環サイクルで自然の恵みで、地球にやさしく出来るだけ開発を抑え、未来の子供たちが安心出来る環境を保全して頂きたい。

これからのまちづくりには、エコ、自然エネルギーの先駆的なまちになってもらいたい。

【教育文化分野】

子供達の通学路の安全への配慮が欠けている。

まだ夫婦2人ですが、これから子供を欲しいと思っています。しかし、保育園などに入園出来ないなどよく聞きます。夫婦共働きなので子供が出来てから不安です。今後、夫婦共働き家庭は増えてくると思います。より、子供を安全に育てられる場所の確保をお願いします。(他4件)

活用していない公立保育園や幼稚園が多く感じられる。民間の保育園や私立保育園に園児が集中しているので、少し考慮して欲しい。(他1件)

幼稚園に延長保育の制度を設けてほしい。子育て中の女性がもう少し働ける環境をつくってほしい。保育園や学童保育がより充実した掛川市になってくれたら嬉しいです。

保育園の決定が入園1ヶ月～2ヶ月前では遅い。

公立幼稚園について(特に)。地元の子供が入ることができず、他の学区の子供を入れてる所がいくつかあります。又、地元ではないのに実家のコネで他の学区から通っている子もいます。地元優先のはずなのに、提出日に願書出しているのに不公平かなと思います。

子育て中です。仕事をしたいのですが、園の料金が高く1歳の子の一時預かりも時間帯が決められており、高額です。仕事をして両方での支払が高くなる為、仕事をする事ができません。時間帯にもよりますが。

公立の保育園を増やしてください。

親の仕事に子供が左右されるのはかわいそう。仕事をやめたら保育園退園→でも幼保園のなかで保→幼へとうつれない(定員オーバーのため)。利用者にとって意味がない。メリットを感じない。また、保育園の待機などの理由が、ブラックボックスのようになっていて、親は常にストレスをかかえることもある。全然子育てが落ち着いてできる環境ではない。男女共同参画と言うが、女性だけが出ていこうとしても、子供と非協力的な男性にひっぱられて、出られないと思う。まず保育園をなんとかすべき。

市立と私立の幼保園の月謝格差が大きすぎる。

幼稚園教諭や保育士の方がかなり多忙な勤務のようです。災害等を含め、日々の子供達への安全・教育・指導を充実するためにも職員増や正規の雇用をお願いします。

保育園の入園条件は、すべての人に公平であるべきです。親が同居していたら対象外とされてしまうが、現実として、親が毎日見ることはできない。同居の人は通常の会社員の場合退職しろと言っているに等しい。女性の社会進出などできない状況だと思う。かといって認可外という選択肢もあるが、認可保育園との差が大きい。保育、子育てに対する市政のたいまんであり、市民の一部の人間に負担を押しつけているに過ぎない。

街中の幼稚園がなくなって少し寂しいし、卒園生としては取り壊した後何になるのか知らせてほしい。

図書館の営業時間を延ばして欲しい(出来れば22時くらいまで)。また、図書館のサテライトがあるといい(例えば駅の中の一角。蔵書はあまりなくてもいいので、返却及び予約の受け取りが出来れば良い。インターネットで予約出来ればなお良い。)

図書館は、菊川、袋井からも利用者があり、とても嬉しいです。でも本は傷み汚れていて残念です。市で予算をとってその修復に努めるか、又ボランティアを育成して修理するか考えてください。

エコは良いことだが、図書館が冬寒すぎる。

図書館は、新刊を中心に大幅に増やしてほしい。(他3件)

図書館地下の書庫を一般の書棚と同じように開放していただきたい。土曜日曜の駐車場がいつも満車になってしまうので、駐車場を多く確保していただきたい。

大須賀に室内プールを作ってほしい。

掛川球場にナイター設備を実現してください。

おとなが管理するのに都合のよい教育を子どもに押しつけない。雁字搦めになったら、子どもたちは次々にこんな街から飛び出していくだろう。つまり住んでいて気持ちがよくて楽しみのある街が必要だ。

政治に興味を持ち生き方に責任を持つ人間になって欲しいです。

古文書講座を受講している友人から聞いたことです。「毎年講座を維持するか検討されている。好きで受講するのだから、資料代を取ればいい。誰しも好きなことには少々の負担は覚悟している。」単純に財政的に負担できないから中止などとしないうちに是非お願いしたい。

掛川市立美術館の魅力が全くなし。資生堂アートハウス、静岡市美術館は魅力がある。廃館も考慮すべし。

歴史博物館(埋蔵文化財だけでなく)を重要視してほしい。人物史や古文書など旧掛川市にはきちんと保存活用されていない。

県内で特に文化面(芸術面)で谷間があること。市の文化祭(芸術祭)も運営に工夫が見られず、出品者が固定し、レベルが年々下がっていて恥ずかしい位です。菊川を見習って欲しい。二の丸美術館の使い方、展示内容も市民の期待にできておりません。行政のトップの芸術、文化への低いあらわれだと思えます。

新成人になった若者に、大人への仲間入りの記念として献血をして頂き、医療に活用してもらおう。

掛川学習センターの音響が悪く設備も古く、控え室等の楽屋に行くのに舞台袖を通らなくてはいけないので、とても不便を感じます。建てかえをお願いしたいと思えます。

【産業経済分野】

イベント等の広告をもっと大々的に。友引カフェやけつトラ市、GWのイベント等を知らない人が多すぎる。県外の方にお土産が少ないと言われた(こだわりっぱに)。

磐田市のららぽーとの盛況ぶりを見ると掛川市にないことが残念。買い物するところがなく、他の市で買うことになる。大型商業施設を望む。(他9件)

駅に大きな本屋が欲しい。スターバックス等のカフェが駅近くと城近くに欲しい。掛川城の隣の広場に人工芝を敷いた方が良い。また、そこでフリーマーケットなどを行って活用した方が良い。

新幹線が停まる街ということで生活するには(出張・旅行)とても助かっています。でも駅前の淋しい様子ももっと「楽しく」「行ってみたいくなる街」「また来たい」と思える街につながる様に市民が盛り上がってほしいなあとと思います。11月に静岡で大道芸がありますが、掛川でもあちこちで楽しめるものがあるといいですね。掛川まつりは楽しいです。もっともっと他地域の人に来てくださる様なアピールができるとう嬉しです。我が家は他区から10年前に越してきましたが、初めてまつりを見たときはとても感動しました。

掛川市の観光、環境、財政、消えゆく商店街にはガッカリです。行政は何をしているのか！住む人の思い、工夫が原動力です。市民と行政、自らの手で未来を開く取組が必要です。観光…岡山県倉敷市の美観地区を参考にしてください。観光とは観る食べる買う泊まると私は思います。商店…長浜市の商店街を参考にしてください。平日でも人が溢れています。

本郷地区にはスーパーもなく、コンビニや酉の市では用が足りません。どうかスーパーの誘致をお願いできないのでしょうか？私だけでなく、本郷、細谷、原田の住民はいつもその事ばかりを口に致しております。

三の丸広場のイベントがなくなってからは、街中がとても寂しいとこになりました。

掛川城下の逆川沿いのユリの咲く時期とてもきれいで素敵です。もっとメディアへアピールしたらどうですか。

町中はさびれています。掛川城は観光目的なのか？もう少し活気が欲しい。掛川をアピールする物が足りず、地味な掛川が嫌いです。年に1度の祭のように活気を期待しています。松井市長は自分の〇〇は暖かいようですが、市民1人1人にもぬくもりが欲しい。

老人がバス、電車などで買い物に行かなくてもよい駅前ですぐに買い物ができるお店が欲しいです。

「掛川は何が有名？」と聞かれて「掛川城」と言いますが、住んでいるわりに全く関心がわきません。

掛川城は、近年テレビ他で大変知れ渡っています。町の中心でもあるゆえなお一層周りを生き付けて客足を呼び込む様な事をしていたら？また、お茶の産地であり「掛川茶」を主体として、加工した商品を研究してアピールされる事を望みます。

二点目はエコパスタジアムの件。県内でも大きな会場ができていますが、なぜかあまり利用率が停滞している様に見えます。たとえ掛川だけでなく、もう少し利用方法を考える必要があるのではないかと町内にも入ってくると思います。

もう少し掛川城周辺を江戸時代の町並みに再開発し、観光客や地元住民を呼べる町としてみてはどうか。

被災地復興の一環として、福島食品の斡旋をしたらどうか。食品の基準値が厳しくなり、多くの食品が出荷出来ないならば、掛川市が購入し格安で販売したらどうか。

若い人、働きたい人、内職者にも市からでも良いから仕事がほしい(体の不自由な人にも)。お金等がなくて食べていけない人、宗教等で苦しんでいる人にも食事、生活を。炊き出し等をもっと回数を増やしてください。

住み易い街づくりは若者の定着率の向上にあると思うので、仕事場を確保する為に物作りだけではなく、農業の産業化をお茶以外の分野で幅広く展開することが必要だと思います。市の職員の方々もパソコンの前で仕事をするよりも現場で学び指導する仕事の量を増やして頂きたいと思います。

市の経済の発展、医療の充実、市民の安全等色々ありますが、欲張った処で全てができる訳ではない(安易に)。まず市民の安全と若者の雇用の為の雇用充実(働きやすさ)企業の誘致。

雇用確保や景気対策に繋がるよう企業誘致などに力を注いでいただきたい。(他2件)

便を良くし、街おこしをし、街を活性化に繋げなければ若者はいなくなるのでは。少子高齢化の街になってしまふ。雇用対策を頼みます。(他1件)

今のままでは、大須賀の町は停滞していくばかりですので、将来に向けて上がっていく商業、工業など生産性をあげるように町づくりをしてください。もっと活気のある町、それには新しいものを作ることです。

掛川駅前の再開発、振興が必要。内外からベンチャー企業を誘致する、起業支援等施策を大胆に実施すべき。

第二東名ができ、県外の方々にできるだけ多く掛川の良さを知ってもらえるように、もっとアピールして欲しいです。「掛川といえば…」というような場所を多くしてほしいです。

高齢化が進むなかで、現状農地の利用状況は年々農地が荒地へと変化しつつあります。農業者をみれば後5年内にはあるいは10年程で農業従事者は激減し、ほとんどが荒地化することが考えられます。一方農地の提供者は給与所得者で農地の保有することだけで税金も含め負担が多すぎます。農業の在り方農地の保有の在り方を歴史的な転換を考える必要があります。農地は耕作をして農地であり農家のものである。放棄された農地は農家のものでなく国として利用を考え処理すべきです。

畜産・農業を続けられる補助対策を。

【都市基盤分野】

新幹線南口の駐車スペース(送迎用)を確保してほしい。

駅北のロータリーが学習塾の送迎で時間帯によっては大混雑。おかしくありませんか？公共の駅前なのに。駅前には掛川の玄関、顔ですので、もう少しどうにかしてほしいです。

余りにも利用者の少ない循環バスを廃止して、高齢者には必要に応じてタクシー半額券等を配布。

駐輪場の代金に不満をもっています。たとえば三ヶ月で買えば500円割引とかあっても良いと思います。浜松地区は自転車が無料みたいです。

バスの便数を減らさないで欲しい。路線を増やしてほしい。公共交通を充実してほしい。バスの助成をしてほしい。(他11件)

車の運転が出来ない高齢者等立場の弱い人が住みやすいまちになってほしいです。(他2件)

大須賀地区西大谷から掛川に通じる道路が早く工事が済み広くなってほしいと待っています。大東・大須賀間も掛川市内同様に巡回している小型バスがあれば、ご老人の方も買い物に足をのばせて便利かと思いますが。

バス路線の廃止で、交通手段は自家用車に頼るしかない為、各家庭が複数の車を所有しています。そのため個人の敷地内に停めきれず路上駐車がが増えて、近隣住民に迷惑をかける結果になっています。そこで、各地域に月極駐車場を作って一般市民が借りられるようにしてもらえないでしょうか。

市内各地から新病院へ行くバスや道路の整備をしてほしい。(他5件)

JRの電車の到着が遅れる時は、駅からバスに遅れる情報が伝わり、バスの発車を遅くしてほしい。

道路の危険箇所を昨年土木課へ連絡して見にきたが、そのままである。市幹部のみならず、市職員も市内を自転車で走って市内の様子を見る位の行動力を欲しい。

特に通学路の歩道やガードレール等安全対策の整備をしてほしい。(他3件)

新規に道路作る、道路の拡幅が毎年行われていますが、車を運転する者にとっては便利でしょうが、自然を破壊している。(他2件)

新東名高速、掛川PAスマートICの推進(他1件)

南北幹線道路の整備。(他4件)

さんりーな近くの川にかかる橋両方に歩道が欲しい。

段差が多くベビーカー、車いすを使用しての移動が限定される。バリアフリー化を。(他1件)

安全な水道水確保の為の配管工事やガスの為のガス管工事は大切だが、それ以外の道路工事でお金をあまり使わないで欲しい。

宅地に面しているが、農道扱いのためなかなか舗装されない道路がある。すみやかに、平等に利便性を考えて早期に舗装されるように改善願いたいです。

亀の甲のお墓の横の交差点は、法務局の方から車がスピードを落とさずに走ってきます。西から東に渡るときに見づらく危ないと思います。小中学生も朝晩通りますので、事故が起こらないよう、お墓のブロック等にカーブミラーを設置する等、是非早めに対応をお願いします。出来れば2方向

公共施設の整備等、実行するのはいいが、同じ所を掘ったり埋めたりが多い。道路工事が多い(他1件)

自転車用の道路が欲しい。国一以外は結構危なく感じる。でこぼこの道が多い。

農村地区内(上内田五百済区内)の橋が狭すぎて消防車、救急車も通れない所があり、あれではとても市民サービスが行われているとは言えない。

幹線道路の渋滞解消

人口も減って高齢化し車も減少していく中で、何十億円も使って交通量も少なく産業による需要もない(大須賀←→掛川)南北道路を作っているのは大変無駄な事だと思う。それだけの無駄なお金を使っているが、一方では市民の苦しい財布の中から都市計画税を強引に取るやり方は許せない。

将来を見据えた道路の整備をお願いします。例えば掛川はジャンクションとしての環境が整っているのに東名インターから国道一号への道が狭いなど環境の良さを生かし切れていないと思います。

駅内の南北の行き来が階段しかないのは、住民、観光客にも大変不便を感じています。

歩道の植え込みは邪魔なうえにゴミだらけで迷惑です(車イス、ベビーカー等歩くスペースがない、自転車ゾーンにもできる)。植え込みの手入れにも税金が使われ、その分を他にまわすこともできる。

高齢化により、郊外型から駅を中心とした街づくりが必要なことは明らかである。しかし、掛川市は、全く異なる郊外への大型店の誘致をしようとしている。掛川市も静岡市のような駅から歩いていける範囲に衣食住と医療があれば便利だと思う。今後は駅周辺の再開発を行うにあたってコンパクトな街づくりを目指してほしい。

駅前の駐車場の整備を行った方がよろしいといつも思っています。(他1件)

高齢化対策も必要だが、街に全く活気がない。駅前開発や商業施設の充実、呼び込みまで経済発展を進めていかないと、老人しか残らない街になると思う。若者に魅力的な街づくりが必要。(他6件)

駅近くに以前あったような(ジャスコ・ユニー)大型スーパーができれば人は集まる。

掛川駅周辺の中心市街地は魅力的かと問いますが、魅力的ならこんな状態にならないと思う。消費行動、消費は時代の流れの中で動くもの、外部の力ではどうしようもないと思っている。

掛川駅南の方はトイレがない。北と南の中央にあるが2ドアしかないので観光客が困るのではないか。

中心市街地の活性化が必要である。(他2件)

「まち」は観光客のためにあるのではなく、まず市民のもの。市民が思いきり使いこなせる所であれば、観光客にも「生きた掛川」が見えるはずだ。

駅周辺の昔からの店舗の人たちの態度や言葉遣いに疑問を覚えることがよくあり、段々入らなくなった。

浜松・静岡が近いせいか買い物など町中を通りすぎてどちらかの市に行ってしまいます。無料の駐車場などわかりやすく案内があると良いと思う。

駅に買い物ができる店舗をつくってほしい。(他3件)

同じような店、スーパーばかりがたくさんあって、おもしろくない町だ。魅力を感じない。

20代、30代の人が友人や恋人とすごせるオシャレなお店や若い人も年齢の高い方も一緒にすごせる和みのあるお店が混在する街になったら素敵だと思います。

掛川駅から掛川城にかけての通り、連雀街の東西の通りなど全くと言っていい程人通りがない。寂しい。空き店舗の活用を。(他18件)

街中に住宅を建て易いような街造りをしてほしいと思います。(他1件)

近隣の人が、公道まで私有地化して通行止めをして嫌がらせをしている。しっかり公道として境を目印してほしい。市の管理河川だが安全対策がされていないため、住んでいても不安で仕方ない。(富部649-1付近)

【防災危機管理分野】

浜岡原発の永久停止。(他9件)

掛川市も浜岡原発より半径20キロ圏内に位置していると思います。あの様な大惨事が浜岡原発でも起こったら、福島県と同じ様な事になり今住んでいる所を捨ててどこか他の場所で暮らす事になるかもしれません。掛川市としたらこの原発の事に関してどの様に考えているのかそれが知りたいと思います。(他8件)

アンケートをやらせていただき、自分が知らないことの多さにびっくりします。また、地震対策の具体的なことも不明なことに驚いています。当たり障りのないことだけではなく、現在市民が一番関心を寄せているだろう「原発」について市民の意見を上げるべきではないでしょうか。

仮に浜岡原発で放射能汚染があった場合、子供(乳幼児含む)への対応はどうなりますか。子供が服用しても大丈夫な薬等支給してもらえますか。

地震・津波対策の強化。(他12件)

防災、津波対策に中心とした事より始めて実施してください。高台に移住する所を10年とか20年と区切りをして移るような計画に重点をおいて下さい。

大須賀地区の幼稚園・小学校・中学校の津波対策。(他3件)

津波タワー等近隣の町では建設されている様なのに掛川市は未実施で沿岸に住む市民としては不安に感じる。避難場所の大浜中学校も耐震工事がされていなく、校舎には入れないとのことで市はどの様に考えているのかと不思議に思います。まず津波対策してください！！

防犯灯をもっと増やしてほしい。(他3件)

大きな地震発生に備えて、特に人情の希薄な世の中、若い者は地域活動に大いに参加し、絆を深め、いざという時に助け合えられる生活をして欲しいと切に希望します。

災害等が起こった場合、地区単位の行動が不可欠となると思います。現状は公民館等を利用出来る環境ではない所も多いと思います。報道で避難生活を送っていた人々を見ましたが、あの様な状況にあった時、今の避難場所で行うことが出来るだろうか疑問があります。

防災訓練に出ても、どこに避難したらいいかわからない(学校なのか、公園なのか)。何をどうしたらいいかわからない。

防災訓練は平日でも在宅している人で構成してはどうか？会社員がメンバーにいても、災害時に地域にいる可能性が低く現実味に欠けている気がする。

防犯防災対策に具体性がない。特に老人ひとり世帯、老人夫婦のみ世帯、障害をもっている人々に対し、安心して暮らせるよう夜間の警察・消防等の交代制による見回りをもっと多くしてもらいたい。防災では、区の自主防にのみ任せるのではなく、避難場所への道路、収容人員など市としてもしっかり把握しておく必要がある。

災害用の携帯器の件だが、時報と迷子くらいの放送のみで勿体ないと思う。もっと有効な使い方、放送の在り方を考えてみたらどうか。例えば、主なイベント、啓発活動等もして幅広く活用すべきである。(他1件)

掛川の放送が聞こえにくいのでどうにかして下さい。(家の中まで聞こえません。)無線機などあるのですか？

災害に強い安心して暮らせるまちづくりをお願いします。(他1件)

南北平等な防災設備を実施してほしい。海岸付近には高台がありません。津波が心配です。

旧掛川市内の標高地図を各戸に配布をお願いします。

掛川市の水道管は老朽化が進んでいると聞かすが、地震等の災害時に大丈夫なのか。

学校の耐震化を強化して欲しい。公民館の古い地域がいくつかある。震災時の集合場所が危険ではダメなのでは。

市の防災マニュアルを一昨年入手し読ませていただいたが、内容を読んで高校生レベルの内容であった事にびっくりした。全員が死んでしまうような防災マニュアルなんて不要ですよ。

掛川市内の201区ある殆どの区では、区長と自主防災会長を兼務していて、区長として自治区の計画した年間行事の消化や、行政からの委託業務などの遂行が優先してしまい、防災については、12月の総合自主防災訓練だけとなっている地区が多いと思われます。防災は、先ず自助、共助が大切でありますので、日ごろから防災に専任出来る自主防災組織にして、出来る限り長い期間任務に就いて、地区民の安心出来る環境を構築するよう、区長会に提言指導をして頂きたい。2年間ほどで区長が交代すれば、未経験の方が防災会長になり、形式的な組織では、地域住民を守れないと思われます。

自転車走行のルールづくり。自転車は軽車両、歩道は歩行者優先のルールを。自転車専用道路もいいですが、自転車に乗る方にマナーを教えてやってください。(他1件)

自転車走行のあり方についていろいろ批判的な意見が多いようですが、当事者側から言えば、掛川・菊川のドライバーのマナーがなっていないということです。(他1件)

交通ルールの厳格化。

地区の消防団に入らない人(24才以上の男性)は1年で1万円(地区によって違うかも)徴収するのはやめてほしい

消防査閲大会及び出初め式の完全廃止。このくらいやらないと消防団のなり手がなくなりますよ。常備消防を今の倍くらいにして消防団は建物火災では必要ないレベルになればよいのですが。

【協働・広域・行財政分野】

横須賀地区の住民として不満がある。1. 都市計画税の使途。2. 固定資産税の課税方針理解出来ない。

市民税などの納付、納税に対して、厳格に対処する必要があると思います。(他1件)

住民税が(他の市より)高い。(他7件)

固定資産税の調査を荷物が入る前にしてほしい(プライバシーの保護)。

高齢化社会が進む中での市政運営面等考慮、健全財政をお願いしたい。

市役所の無駄排除、職員削減。(他8件)

掛川市、袋井市新病院建設事業、行財政改革の推進、産業振興と雇用問題の推進、震災原発への対等等、掛川市の課題が多い。財政難の昨今、英断的発送による行政改革により最重要施策への対処が必要と考えます。

市長の給料を少しでも減らし、市の為に役立てほしい。

役所の整理、経費削減、もっと真剣に取り組んでください。建物も職員もすごく無駄な気がして腹立だしい。

行政改革は必要ですが、社会の潤滑油的なものまで削ることはやりすぎだと思う。市民がやる気をなくするような事にならないよう配慮が必要です。

行財政改革も必要であるが、職員の意識改革も必要です。

バブル時代に作られた補助金はなるべくカットの方向にし、子育て支援、地震対策、高齢者が働きやすい地域づくり、高齢者になると困ったときに人の手を借りるよりもお金で解決できるものならしたいと思うようです。

母国語以外のフリートークなどホームページで見っていますが機会が少ない。外国人に対し偏見を持っている人が多く、その壁をなくしていけたらと思います。交流できる場所をもっと提供していただけたらと思います。

公共施設(学校、公民館等)の英語及び中国語などの表示板取付及び病院施設等の内部診療、内容表示板(英語、中国語等)を表示してもらいたい。

光ファイバー網からはずれている為、高速アクセスができません。インフラの整備をお願いします。(他1件)

排他的なよそ者な性格な人が多い、もっと前向きにお付き合いをする様、広報等を使い市民教育を希望する。二宮尊徳の質実剛健は良い。

広報かけがわの中の病院の予定表が早すぎると思います。例えば4月末に配付される広報には5月の予定を載せてほしい。

広報かけがわは発行回数を半分にし、経費削減を図る。

広報かけがわが月1回は情報ばかり多くてわかりにくい。

市行政その他(例、男女共同参画、消防)のPR誌について、整理整合を図り、経費節約を考えられたい。

市の情報を知るためホームページを見てくださいとのことですが、パソコンもない高齢者は市の広報かけがわを見ていればいいですか？

生涯学習運動をもっと推進し、自分たちが住む地域は自分たちで「住み良い地域」にするよう、自治意識を高める必要があります。言いたい放題の社会になり過ぎたように思う。発言には責任をもつような社会づくりが必要です。このままでは地域の役員のなり手が無くなってしまふ。

市役所、市立病院の窓口等の対応が悪い。たらい回し、見て見ぬふり、嫌な顔、担当者不在による対応不可、態度が悪い、挨拶がない(他11件)。

定時以外の開庁について、時間延長、土日のいずれか月1回など、検討してほしい。(他1件)
市役所が木曜日延長してくれているので有り難い。

男女共同参画の実現には女性が安心して働ける環境が必要だと思います。(他1件)

男女共同参画について、平成17年以後8年間の委員の点検を下さい。もっと幅広く人材を育成しないと男女共同参画の推進にならない。

市議に女性がいないことは大きな問題だと思います。男女年齢に関わりなく社会の一員として貢献できるよう、様々な可能性を提示できる市政であってほしい。

高齢者や障害者、子ども、その家族が孤立する事のないよう地域コミュニティーの充実を願います。

区からの連絡報告事項で今区でどのようなことがなされているのか身近に感じます。これがアンケートの問いの具体化されたものと考えていいですね。

「悪しき習慣」を「伝統」と履き違えた年配者が強い影響力を持ちすぎている。行政や街づくりも良い方向には向くとは思えない。自分の住む新井区民を見る限り、民度はかなり低い。

区の活動への支援を増やしてほしい。

少ない資金で活動しているボランティア団体への援助を増やしてください。無駄な道路を作るよりも地道に頑張っている人達に使うべきです。

南部地区は人口も少ない為か、生涯学習メニューの募集人数も少なく、すぐに定員に達してしまい参加できなかったりします。それに参加料金にプラス材料費の金額が掛川市内の講座より高いと思います。

行政は何かにつけ助成金を出しているが平等ではないし、必要なし。例えば、学習センターを無料で貸す日を決めてもよいのでは。サークルが利用した場合、場所使用料がかさむ(月4回利用)。

区長制度(2年任期)の見直しをしてほしい。

東から引っ越してきて4年になります。祭や消防団に自分の子供(まだいませんが)を参加させたくありません。文化だと理解していますが、そういったものがない地域があるならアナウンスしてほしい。

行政と民間との協働、又は民間主導を推進。社会保障の制度拡充。

市の東西格差(人口の多少にもよりますが)に東部の住民は西の商業施設に通わなければならない住民も多いようです。東部にも気配りをしてください。

区費が高く生活を圧迫している。

掛川市の施設の場所が住所ではわからない場合があるので、出来れば1枚の地図に大体の場所を示して下さると嬉しいです。

まちづくりを行う際に、若者の意見も取り入れたら、今後、よりまちが盛り上がるのではないかと思います。

少子高齢、防災等、行政に求められることは多数ありますが、市民との協働でよりよい街づくりを期待しています。

老人の人たちがゆっくりゆったり遊んで学べる施設があったらよいと思います。今はさくさく学校を活用して交流をはかっているようです。スポーツ的なこともいいと思います。昔に戻って年1~2回盆踊りのような簡単な行事でも教えていただけたら楽しくなると思います。老人ばかりでなく、子供、若い人達も一緒になって行うレクリエーション。

【その他】

市議会議員の数が多すぎる。議員の質の向上を願っています。(他1件)

駅舎について、市税を使い木造で保存に反対。それよりも新しい駅、設備の充実を望む。(他5件)

静岡空港の利便性の向上を望む。

他市(県東部)から結婚で掛川市に来て30年になりますが、未だに掛川市民という感じがしません。掛川市民の考え生活習慣にはついていけない事が多々あります。住みにくい町です。

市民のモラルづくりに是非力を入れてください。(他1件)

資料(人口統計など)からこれから何が必要となってくるのか(高齢化、少子化どちらを優先して対処するのか等)を考え、将来のことを考えて行動することも良いまちにする1つの手だと感じます。

力のあるものにたかってハコモノを造るようなまちづくりはしない

警察官の職業意識向上を望みます。

掛川市民が市政に興味を持ちたいようなパフォーマンスをトップにお願いしたい。
市長が掛川市のセールス活動するのはあたりまえ。もっと部課長の意識を改革し、職員全員が営業マンたる心構えが必要。

旧掛川・大東・大須賀の掛川市として一体感が感じられない。(他1件)

大東・大須賀地域と掛川地域の均等な施設・施策を望みます。市になっても税金だけ高くなり何も変わらない。(他6件)

掛川市は3市町が合併したが、合併の効果があまり出ていないと思う。重複した施設の統合、地域間の融合が望まれる。

市民が集う場所がないので三の丸広場を朝のラジオ体操の場にしたら少し掛川市を愛する気持ちになれるのではと思います。

市役所について。聞いた話によると、女性が夜中まで仕事をしている部署があると。噂ですが。忙しく人手が足りないのか、人数がいてもこなせていないのか、見直してみてもいいかがですか。女性が夜遅くまで仕事をしていると危険なこともありますし、家庭を持っていたら大変だと思います。

市役所の駐車場。前向き駐車となっているが、出る時、横から車が来てひやっとした時が何回かある。出にくく、他の車と接触するかもしれないという不安が常にある。

現下の経済状況の下大変ですけど松井市長始め職員一生懸命頑張ってください。感謝申し上げます。今後一層の頑張りをご期待申し上げます。ご苦労さんです。

掛川のよい所(自然・歴史・観光等)を残しつつ、掛川がもっと活発になるようなまちづくりをしてほしい。昔からの住みやすさ(地域のつながりなど)はそのまま継続するような街にしていってほしい。

掛川市内の中にも定年退職という年齢で現役を退いている専門知識のある方や、経験豊かな人材の方も数多くいらっしゃるのよき町づくりの柱を市職員だけでなく市民と一緒に考え、明るく安心して暮らせる町づくりを築いていってほしいです。ひとつひとつの項目がより実施できるようになるには、何が必要か具体的内容を挙げ検討できるといいですね。

支援、補助、推進等間接的な活動が多く見える。これらの活動も必要だが、直接的に実行する活動が何があるのかわからない。

主人が転勤勤務者だった為ある程度の全国を回ってきました。老後は静かな美しい環境の中、新幹線もあり、それなりに交通の便も良いかと思って引っ越ししてきましたが、あまりにも不便で病院も遠く、今になって車

の運転をしています。たまには音楽鑑賞に行こうと思ってもホールは小さく有名な人も来ない為、遠くまで行く事になってしまい不満です。老後はやはり病院も近く、買い物も便利な広い庭付きの家でなく、ごちんまりとしたマンションの方が良かったかと思う今日この頃です。

生活の知恵袋、老人に手段対処方法、言い伝え、地名の由来、危険な所、石化津の生活の知恵が忘れられてしまう前に老人会を通じて、知恵を書き残してほしい。今のうちでなければ残らないと思う。今なら老人に時間があると思う。二度と手に入らない知恵残してほしい。これからの自分たちのために。

町づくり計画 長期計画はこれ、中期計画はこれ、短期計画はこれ、と計画の全体がみえない。掛川市の北部・中部・南部の自然等条件による町づくりそれぞれの地域個性に合わせた町づくりを北部は自然の山河を利用した観光に、中部は商業の町、南部は工業の町。主軸を明確にし、道路整備、施設整備も考慮していただきたい。福祉施設等は、居住環境に応じ、一点集中は避け、分散型に設置されることを望みます。夢のある町づくりの構想を町の住人に応募させてみてはいかがでしょうか。

開発するばかりでなく、自然を整備しながら楽しめる文化的な価値の高い掛川にしていってほしいと思います。新しいことがいいことではない地域の歴史的な価値をみんなが見直し、高めあってほしいと思います。掛川は「こんなことが素晴らしいんですよ！」という、良い面のアピールがあつていいと思います。大人も子どもも掛川が好きであることが大切だと考えます。

倉真です。地区の町づくり委員の人はみんな頑張って地区の為にやっています。住みよい所です。市職員の皆さんもいつもありがとうございます。5区の方の道路も広くなるようお願いします。

掛川市に新たに住宅を建て転入しましたが未だ地域に元から居住している住民が新転入者を排除する傾向が有りとても住みづらさを感じている。新住民も楽しく生活できる社会をつくってほしいです。

もっと一般市民のことを考え努力して欲しい。一般社会では、公務員のようにあまつたれてないですよ！競争のない市役所職員にはきつとわからないでしょうが、税金をおさめる会社員たちの様に努力してください。

都会に行くと公共のトイレがとてもきれいで気持ちがいいですが、掛川駅のトイレなど、こだわりっぱのトイレ、やはりいなかかなかなと失望しています。掛川市民としてははずかしいなといつも感じています。

市の行政の成果、結果は私には全くもって見えて来ない。何故なんだろう。市民の不満は多くあるのに改善されているとは思わない面が多くあるのは何故なんだ。それぞれの市議が市民の声を行政に反映させてないからなんだと日々思っている。

市民農園でも作り市民に貸し出したら良いと思う。

掛川市は東海地方でも西に東に、いろいろな方面で地理的に利点がいい所に位置しています。しかし、何かもう一つ何か足りない思いでなりません。特徴のある市づくりを目指し頑張ってもらいたいと思います。(特に前面に出しアピールするのはお茶がいいのかな?と思われる。)

掛川市に住んで3年ですが、不便で仕方ありません。ゴミ処理問題や、道路の汚さ(ボコボコと穴が開いている。)、夜間の暗さ(女性1人でも安心して歩けるように街灯をふやす等)早く改善して欲しいです。お城や駅にお金をかける前に、安全な街作りの方が優先ではないでしょうか。

このアンケートの項目が多すぎる。質問の意図がわからない。(他29件)

このアンケートに参加していかに市政に対して関心が薄いかがわかり、それだけでもよかったです。市民の意見をこのような形で聞いてくださる事に感謝を致します。